

テーマ	総合原価計算（仕損・減損）								
学籍番号								氏 名	

1. 次の資料に基づき、(1)、(2)、(3)、(4) の当月の完成品総合原価と月末仕掛品原価を計算しなさい。

当月の生産データおよび原価データは次のとおりである。

〔生産データ〕

月初仕掛品	600 個	(20%)
当月投入	1,020 個	
合計	1,620 個	
正常仕損	120 個	
月末仕掛品	300 個	(80%)
完成品	1,200 個	

※（ ）内は加工進捗度を示している。

※材料はすべて始点で投入している。

〔原価データ〕

	材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥160,200	¥32,400	¥192,600
当月製造費用	¥244,800	¥435,600	¥680,400

(1) 先入先出法 ※仕損が工程の終点で発生している場合

完成品総合原価	円
月末仕掛品原価	円

(2) 先入先出法 ※仕損が加工進捗度 50%地点で発生している場合

完成品総合原価	円
月末仕掛品原価	円

(3) 平均法 ※仕損が工程の終点で発生している場合

完成品総合原価	円
月末仕掛品原価	円

(4) 平均法 ※仕損が加工進捗度 50%地点で発生している場合

完成品総合原価	円
月末仕掛品原価	円

授業の感想など	
---------	--

テーマ	総合原価計算（仕損・減損）								
学籍番号								氏 名	

2. 次の資料に基づき、完成品原価、完成品単位原価、月末仕掛品原価を求めなさい。月末仕掛品への原価配分方法は平均法によること。

【資料】

① 当月の生産データ

月 初 仕 掛 品	800kg	(0.4)
当 月 投 入	5,200kg	
合 計	6,000kg	
正 常 減 損	400 個	
月 末 仕 掛 品	1,600 個	(0.6)
完 成 品	4,000 個	

※（ ）内の数値は加工進捗度を示している。なお、材料はすべて工程の始点で投入された。

② 当月の原価データ

	直接材料費	加工費	合 計
月 初 仕 掛 品 原 価	¥272,000	¥384,000	¥656,000
当 月 投 入 原 価	¥1,811,200	¥6,014,400	¥7,825,600

③ 正常減損は工程を通じて平均的に発生している。非度外視法により計算すること。

※平均的発生の場合は、正常減損費を加工換算量の割合で配賦します。

完 成 品 原 価	円
完 成 品 単 位 原 価	円
月 末 仕 掛 品 原 価	円

授業の感想など	
---------	--